

# 2022 総合労働条件闘争 会社から一次回答あり!!

**UOROKU  
UNION  
NEWS**


3月8日(月)第40期第14回労使協議会が執行部20名(うちリモート出席11名)、会社側3名の出席で開催され、2022年2月度のインターバル規制違反状況の確認、長時間労働の対象者とその原因について協議を行い、そして賃上げや一時金を含む総合労働条件改善の要求について会社側から1次回答がありました。

今回も「3密」をさけるために座席への配慮と、Zoomを使いリモートでの会議を行いました。

## 1. 協議事項

- 1) 「インターバル規制(9時間)」2022年2月度の違反状況確認
- 2) 「長時間労働(残業時間月45時間以上)」2022年2月度の対象者と原因を確認
- 3) 2022 総合労働条件闘争交渉会社側一次回答

## 2. 協議内容

### 1) 「インターバル規制(9時間)」違反状況確認

■2022年2月度違反人数：19名 (2021年2月度：46名)

会社側は、2月度の原因としては恵方巻に尽きるとしたうえで、だから仕方ないということにはせず、違反人数が少なくなってもゼロを追求していく方向性が正しいと思うので、工夫して成功した部分はこれからもいかにしていきたいとした。

これに対し組合側は、今回の労働条件闘争にも更なる目標を盛り込んだように、件数ゼロを目指していく中で、生産性を上げるためにも仕事中の動きを早くしたり、利益が取れるように頭を使ったり、精一杯の工夫をして、仕事と休息を同時に充実させていくことを目指したいとした。

### 2) 長時間労働(残業時間月45時間以上)の対象者と原因を確認

■2022年2月度超過人数：8名 (2021年2月度：15名)

会社側は、新崎センターの供給量増や主任の人事異動、そして恵方巻関係を主な原因として挙げ、今回は定時社員・パートナ社員の割合も多かったと述べ、コロナの影響による急な欠勤のカバーでの作業も各店で起きており、いつもとは違う案件も多いという見解を示した。その上で、極端な残業は昨年よりも改善傾向にあり、一番残業が多かった人員についても48時間だったと述べた。

これに対し組合側は、勤務間インターバル規制と同様に恵方巻などのイベントで発生しやすくなっている部分に関しては、計画の段階から対策をし、コロナ関係などの欠勤などの原因が明確な部分に関しては仕方がないが、原因が分かっている分は先に向けて労使で協議を続けていきたいとした。新崎センターの残業に関しては異動もあったので改善されていくとは思いますが、生鮮デリカセンターの稼働も控えているので、今のうちに原因を追究し、安心して稼働を迎えられるよう引き続き労使ともに協力していきたいとした。

### 3) 2022 総合労働条件闘争交渉会社側一次回答

※ 闘争情報 VOL.2 を参照

